

総合内科兼糖尿病・内分泌内科研修プログラム

I プログラムの一般目標 (GIO)

内分泌疾患，代謝疾患の基本的な考え方を身につけ，的確な診断から病態の把握，治療方針を決定する能力を身につける。

また発熱、倦怠感、るいそう、浮腫といったいろいろな症候より種々の疾患の鑑別を行い、診断治療に結びつける力を養う。

II 行動目標 (SBOs)

- ・糖尿病を的確に診断し重症度の判定を行う。
- ・糖尿病の病態の解析を行う
- ・糖尿病の治療方針を決定する。
- ・糖尿病合併症を適切に診断し治療する。
- ・糖尿病患者に生活指導を行う。
- ・高血糖や低血糖の急性合併症の初期治療を行う。
- ・甲状腺の触診を通して甲状腺疾患の診断病態を理解する。
- ・2次性高血圧の診断病態を理解する。
- ・下垂体副腎疾患の診断病態を理解する。
- ・種々の症候，理学所見をもとに検査計画をたてて診断・鑑別診断を行う。

III 方略 (LS)

1. 指導医または上級医とともに入院患者の担当医となり、受け持ち患者の診療に従事する。
2. 病棟回診に帯同し、迅速に受け持ち患者以外の診療の概要を理解する能力を向上させる。
3. 指導医・上級医のもとで、外来新患者の診察、検査指示を行う。
4. 指導医・上級医のもとで、糖尿病教室の講師を担当する。

IV 経験すべき疾患

1. 糖尿病
2. 高血圧症
3. 脂質異常症
4. メタボリック症候群
5. 甲状腺機能異常症
6. 下垂体疾患

V 評価(EV)

1. EPOC による評価を行う。
2. レポートの提出により評価を行う。(浮腫、発熱、高血圧症)